ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.B-1(A-NO.13,L40)	調査位置				北　緯	36 ° 19 ' 09.0000 "
発 注 機 関	栃木県佐野土木事務所			調査期間	2008-10-03 ～ 2008-10-04	東　経	139 ° 37 ' 02.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	37.24 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	12.02 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	36.59	0.65	0.65		埋土・砂礫 (Fl/GS)	暗褐灰			砂礫主体の盛土 礫はφ2～60mmの亜円礫主体 少量の粘土分を混る 所々にコンクリート片、ガラを点在する		
	36.29	0.30	0.95		埋土・礫混りシルト (Fl/M-G)	暗灰			礫混りシルト主体 全体に少量の礫やビニール片を混入する		
1 2	34.19	2.10	3.05		埋土・シルト (Fl/M)	暗灰		軟らかい	シルト主体の盛土 全体に細礫を点在する 1.05m付近に溜まり水有り		
3	33.44	0.75	3.80		礫混り粘土 (CH-G)	茶褐灰		中位	含水中位で粘性は弱い φ2～15mmの角礫を少量混入する		
4	31.79	1.65	5.45		凝灰質粘土 (CH)	茶褐灰		硬い	含水少なく粘性中位 全体にスコリアを多く混入する やや固結状を呈する 不規則に色調が赤褐あるいは暗茶部を含む 5.00m付近は含水多い		10/03 5.02
6	30.94	0.85	6.30		礫混り粘土 (CH-G)	暗青灰		軟らかい	含水、粘性ともに中位 全体にφ2～15mmの角礫を点在する		
7	29.89	1.05	7.35		有機質粘土 (CHO)	暗褐～暗灰		軟らかい	含水、粘性ともに中位 全体に有機物を多く混入する 細礫を点在する 7.00m付近より暗灰色を帯びる		
8	28.69	1.20	8.55		礫混り粘土 (CH-G)	暗灰		硬い	含水少なく粘性中位 φ2～10mmの角礫を少量混入する		
9	28.14	0.55	9.10		風化頁岩 (Sh)	暗褐灰		固結した	風化著しく粘土質礫状を呈する 8.80m～は風化が進むも岩構造を残す		
10 11 12	25.22	2.92	12.02		頁岩 (Sh)	暗褐灰～黒灰			9.10～9.45m間は風化進み、亀裂も多く亀裂面は褐変している 9.45～10.70m間は岩質はやや硬質であるが亀裂が多い コアは10～25cmの棒状で採取される 10.70～11.05m間は風化進み、一部岩片状のコアとなる 11.05m以深は硬質で、コアは12～50cmの棒状で採取される		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／19	1／14		2／33	2
1.48					
2.15	1／15	1／11	1／11	3／37	2
2.52					
3.15	2／12	2／11	2	6／33	5
3.48					
4.15	3	4	4	11／30	11
4.45					
5.15	5	5	5	15／30	15
5.45					
6.15	1／11	1	2／16	4／37	3
6.52					
7.15	1	1	2／12	4／32	4
7.47					
8.15	3	4	7	14／30	14
8.45					
9.15	50／4			50／4	>50
9.19					
10.00	50／3			50／3	>50
10.03					
11.00	50／5			50／5	>50
11.05					
12.00	50／2			50／2	>50
12.02					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.20	T1-1		物理・圧密・三軸	
		2.20				
						10/03
						10/04